

# 「個人的評価」に異論続出

## 陸自の「言い抜けにすぎない」 内部文書

陸上自衛隊の情報保全  
隊がイラク派遣に反対す  
る団体や個人の情報を集  
めていた問題で、「反自  
衛隊活動」などのコメン  
トが個人的評価だとして  
沈静化にやっきとなって  
いる防衛省側に、異論が  
噴き出している。文書  
は、東北方面情報保全隊

長名義で作成され、幹部  
らに配布されたとみられ  
るためだ。七日の参院外  
交防衛委員会でも、この  
問題が取り上げられ、久  
間章生防衛相と民主党の  
議員が激しく応酬した。

「反自衛隊活動」とさ  
れていたのは、民主党の  
増子輝彦参院議員の「イ  
ラク派遣に反対」という  
発言や、ヘリコプターの  
騒音への苦情電話など。

共産党が六日公表した同  
保全隊の「内部文書」の  
中で明記されていた。

久間防衛相は「反自衛隊  
活動とレッテルは張れな  
い。防衛省、自衛隊として  
評価を下したなら問題か  
もしれないが、記入した  
人の識見の問題だ」とし

て、個人的な判断だと強  
調した。しかし、この文書  
は東北方面情報保全隊長  
名義で作成され、中央や

他の四方面の情報保全隊  
長などが配布先だった。  
ノンフィクション作家  
の佐野真一氏は「『個人  
の識見』というのは言い  
抜けにすぎない。(個人  
に)責任転嫁するのは大  
臣の器と思えない」と手  
厳しい。

千葉大の新藤宗幸教授  
(政治学)は「昔の憲兵も  
陸海軍内の取り締まりが  
任務だったのに、いつの  
間にか軍に対し人がどう  
思っているのかに介入し  
反軍活動を取り締まり始  
めた」と指摘。「大臣は市

民への諜報(ちようほう)活動は一切しないと明言すべきだ」と話した。

軍事アナリストの小川和久氏も「個人や東北方面の問題ではなく、自衛隊全体の価値判断の表れだ」との見方。「自衛隊の活動に異論を言えば敵だ」という白か黒かの判断しかできないのは、情報活動が低レベルに終始している証拠」と言う。

軍事評論家の江畑謙介氏は「担当者の主観を交えて個人的に分類しただけ、組織としての評価にも至っていない」と久間防衛相を支持した。

市民団体も抗議  
陸上自衛隊の情報保全  
隊がイラク派遣に反対す  
る市民集会などの情報を  
集めていた問題で、労働  
組合や情報収集の対象と  
された市民団体などが七  
日、相次いで抗議声明を  
発表、防衛省に送付する  
などした。

この日の参院外交防衛  
委では、民主党の白真勲  
議員が「なぜ『反自衛隊  
活動』なのか」と追及。

このうち、新聞労連は  
「機密漏えいを防ぐこと  
が任務の情報保全隊が、  
新聞記者の取材活動や消  
費税引き上げの反対集会  
まで記録していた」と指  
摘。「一般市民の自由な  
意思表示や記者の取材  
が、武力を持つ巨大組織  
に監視、記録されること  
に不気味なものを感じ  
る」と批判した。主催し  
た反戦集会や署名活動が  
情報保全隊の監視対象に  
含まれていた原水爆禁止  
日本協議会と自由法曹団  
も「憲法が保障する権利  
に基づく行動を監視する  
ことは明白な憲法違反」  
として、監視活動の中止  
と全容解明を求めた。